

路地百選推薦書

推薦者氏名：事務局

推薦する路地（のまち）の名称	美保関青石畳通りほか
所在地	島根県松江市美保関

【推薦する理由（路地のよいところ）】

美保神社から仏谷寺に至る参道で、幅員 2.7m 程度の道が近在の海岸で取れる凝灰岩で石畳されており、雨などで濡れた路面が青く見える。国登録文化財の数寄屋造り旅館「美保館」など、古い木造の街並みが 250m 続いている。中程石畳が L 字に折れたあたりに創業 100 年以上の太鼓醤油店があり、魯山人も絶賛した醤油や醤油ソフトクリームを売っている。また、2 件隣で売っていたところてんは、四角い餅のような形ですり生姜と三杯酢で食べるものだった。

美保関の路地はこの青石畳通りだけではなく、海岸沿いの道路と美保神社参道除いて全てみごとなまでの路地のまちとなっている。

【写真添付】



美保館



美保神社からの入口



美保関新聞？
80 周年記念歌碑



路地にはネコ



仏谷寺への路地 ↓



各家の由来を表示
文豪の歌碑も



美保神社裏の路地

路地	面積	約	h a	路地の延長	約	m
のまちの概要	まちの成り立ち、特色等	古事記には、事代主の神が天照大神の命を受けたタケミカヅチオの神に国譲りに承諾した地として描かれ、美保神社の祭神が事代主の神（=えびす様）となっており、全国のえびす様の総本社となっている。 鎌倉時代以降、美保関は海上交通と政治の要所となり、関所が設けられ、貿易上の拠点ともなった。このため、毛利氏と尼子氏により争奪戦が繰りひろげられた。江戸時代には通商貿易と漁業で栄え、出雲地方の最大の漁港であった。				